



Japan International Cooperation Agency
Corporate Identity Design Manual

新しいJICAシンボルデザイン



はじめに

2008年10月、独立行政法人国際協力機構（JICA）は、これまでの技術協力に加え、国際協力銀行（JBIC）から有償資金協力（円借款等）、外務省から無償資金協力といった業務を承継し、新たに日本の国際協力を包括的に実施する機関へと生まれ変わりました。

新しいJICAは、3つのスキームを一体的に運用・実施していく世界有数の援助機関として、これまで以上に機動的で迅速な実施を行い、相乗効果を重視しながら、民間企業やNGO、大学、国際機関等、JICAを取り巻く様々なステークホルダーとの連携を強めた活動をしていきます。

このような新たな体制と組織文化の創造のために、これまでのコーポレート・アイデンティティ（CI）デザインシステムを改定することとしました。新しいCIは、これまでのJICAのCIも活かしながら、新たな要素を盛り込むことで、JICAを取り巻く多様なステークホルダーに新しいJICAの組織理念・画期性・信頼感を浸透させていくためのもので、本マニュアルにある内容をご理解いただき、新しいJICAのCI確立にご協力いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2008年10月
独立行政法人 国際協力機構 広報室

目次

		ページ
1	4つの基本的なデザインルール	
1-1	4つの基本的なデザインルール-1、2	1
1-2	4つの基本的なデザインルール-3、4	2
2	Basic Design System	
2-1	基本デザイン要素	3
2-2	JICAシンボルデザイン	4
2-3	名称ロゴタイプ	5
2-4	カラーシステム(カラー再現規定)	6
2-5	指定書体	7
2-6	アイソレーション(不可侵領域)規定	8
2-7	シグネチャシステム-1(名称ロゴタイプとの組合せ)	9
2-8	シグネチャシステム-2(名称ロゴタイプ+住所などとの組合せ)	10
2-9	シグネチャシステム-3(名称ロゴタイプ+機関名などとの組合せ)	11
2-10	シグネチャシステム-4(例外)	12
2-11	JICAパターン	13
2-12	使用禁止例	14
3	Application Design System	
3-1	名刺-1(一覧)	15
3-2	名刺-2(国内/本部)	16
3-3	名刺-3(国内機関)	17
3-4	名刺-4(在外事務所)	18
3-5	封筒-1(洋0)	19
3-6	封筒-2(角2)	20
3-7	封筒-3(角1)	21
3-8	封筒-4(角1/和英併記)	22
3-9	封筒-5(洋0/海外)	23
3-10	封筒-6(角1/海外)	24
3-11	レターヘッド-1(和文)	25
3-12	レターヘッド-2(英文)	26
3-13	IDカード	27
3-14	シール(供与機材等)	28
3-15	ポスター/フォーマット-1(横型)	29
3-16	ポスター/フォーマット-2(縦型)	30
3-17	パンフレット/フォーマット-1(A4)	31
3-18	パンフレット/フォーマット-2(A4三折)	32
3-19	サイン-1(建植サイン)	33
3-20	サイン-2(銘板)	34
3-21	サイン-3(壁面サイン)	35
3-22	サイン-4(プレートサイン)	36
3-23	車両-1(国内)	37
3-24	車両-2(海外)	38
3-25	Webバナー(イメージ)	39
3-26	パワーポイント/フォーマット	40
3-27	その他のアイテムデザイン(イメージ)	41

1 JICAシンボルデザインは、国内用と海外用の2タイプあります。

👉 P.4

タイプA

日本国内の多くの人々に「ジャイカ」と読んでもらえるように、ルビを一体型にしたものです。原則として、和文表記のアイテムに使用します。



タイプB

海外で統一的に使用します。また、日本国内の英文表記のアイテム、壁面サイン、およびスペースが小さくタイプAの使用が困難な場合に使用します。



2 正しい色で表示します。背景は「白」または「JICAライトグレー」の2つのパターンで使用します。

JICAシンボルデザインは「JICAブルー」「JICAレッド」「JICAライトグレー(背景色)」、文字要素は「JICAグレー」で表示します。

👉 P.6

JICAブルー



JICAレッド



JICAライトグレー(背景色)



JICAグレー(文字要素)



独立行政法人 国際協力機構

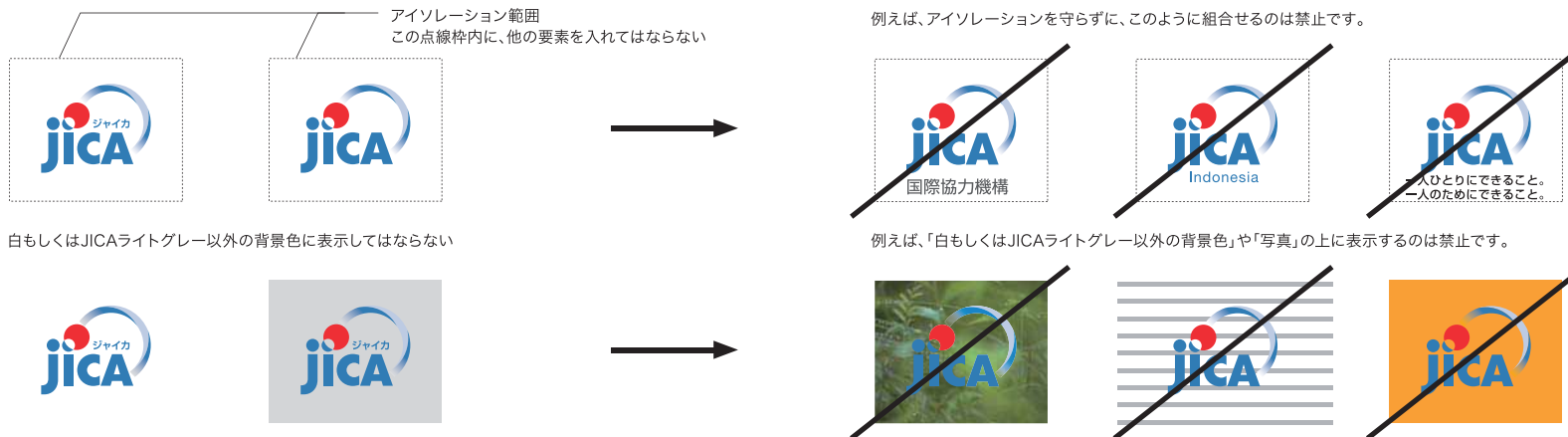
国際協力機構

Japan International Cooperation Agency

3 JICAシンボルデザインは、常に単独で表示します。背景は「白」または「JICAライトグレー」のみとします。

他の視覚的要素から分離させ、常に単独で表示することで、シンボルデザインの強い存在感をアピールします。

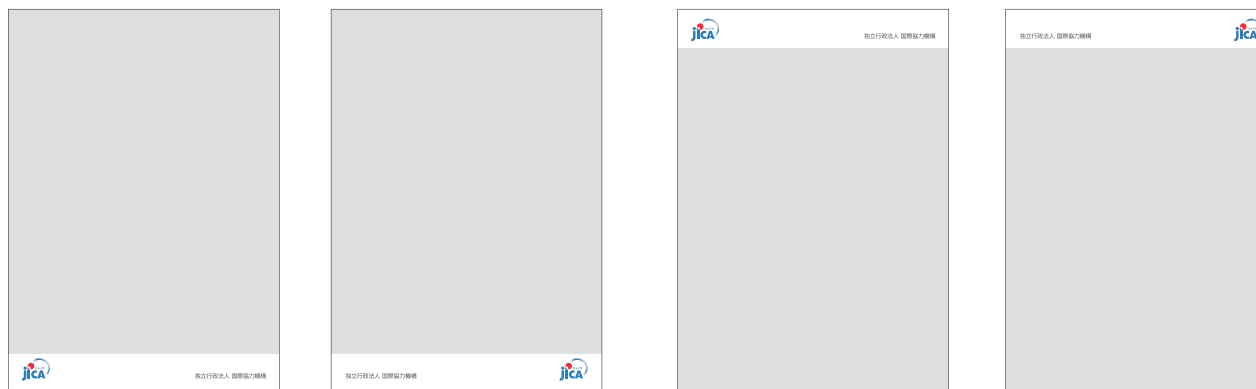
👉 P.8 P.14



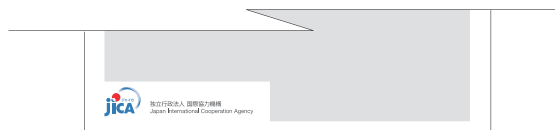
4 原則としてJICAシンボルデザインとその他の要素は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。

JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプや住所など)は、できる限り離して表示することを原則とします。レイアウトする際、まず第一に、離して表示できるスペースを確保することを優先します。

👉 P.9



例外 スペースの制約上、JICAシンボルデザインと名称ロゴタイプを離して表示できない場合は、以下のように近づけて表示します。ただし、その際もアイソレーション規定を守り、JICAシンボルデザインの独立性を保つように表示します。
👉 P.12





Basic Design System

2-1 基本デザイン要素

JICAのCI(コーポレート・アイデンティティ)デザインシステムは、下記の基本デザイン要素から構成されています。
新たなJICAのイメージをビジュアル化したものがCIデザインシステムであり、明確で好ましいイメージを皆さんが共有し、社会に向けて伝えるための視覚的な表現手段です。
各要素それぞれの役割を十分理解し、「JICAらしさ」を確立するCI活動の一環として、正しく有効に活用してください。

JICAシンボルデザイン

JICAシンボルデザインは、JICAの新しいCIデザインシステムの中心として、あらゆるコミュニケーションに関わる媒体に可能な限り使用していきます。
JICAの目標や理念がこの形の中に集約され、視覚的なコミュニケーションの場面で、それを人々に伝えます。
JICAシンボルデザインには、タイプAとタイプBの2タイプがあります。
なお背景色は、白またはJICAライトグレーの2色が使用可能です。

📖 P.4

JICAシンボルデザイン(タイプA)



JICAシンボルデザイン(タイプB)



名称ロゴタイプ

名称ロゴタイプは、文字で確実に国際協力機構を認識してもらうためのものです。
JICAシンボルデザインとの調和を考慮して、特別にデザインされた文字ですから、これを变形したり、字間をあけるなど組み方を変えたり、他の書体を使用することはできません。

📖 P.5

名称ロゴタイプ(和文正式)

独立行政法人 国際協力機構

名称ロゴタイプ(和文略式)

国際協力機構

名称ロゴタイプ(英文)

Japan International Cooperation Agency

カラーシステム

色彩の面からJICAのイメージを伝えます。
JICAシンボルデザインの基本カラーは「JICAブルー」「JICAレッド」「JICAライトグレー」です。
名称ロゴタイプを始めとした文字要素の基本カラーは「JICAグレー」です。

📖 P.6

JICAシンボルデザインの基本再現色



JICAブルー



JICAレッド



JICAライトグレー(背景色)

文字要素の基本再現色



JICAグレー

指定書体

指定書体は、一般書体の中から選定されたものです。
JICAシンボルデザインや名称ロゴタイプともよく調和します。
ポスターやパンフレット等のコミュニケーションアイテムにもできる限り使用してください。

📖 P.7

あいうえおかきくけこ佐之寸世曾太知川照飛

ABCDEFGHIJabcdefgh1234567890

あいうえおかきくけこ佐之寸世曾太知川照飛

ABCDEFGHIJabcdefgh1234567890

あいうえおかきくけこ佐之寸世曾太知川照飛

ABCDEFGHIJabcdefgh1234567890

あいうえおかきくけこ佐之寸世曾太知川照飛

ABCDEFGHIJabcdefgh1234567890

あいうえおかきくけこ佐之寸世曾太知川照飛

ABCDEFGHIJabcdefgh1234567890

JICAパターン

展開するアイテムの特徴に応じてJICAパターンを使用することができます。
JICAパターンは、JICAシンボルデザインが表示されているアイテムに限り使用可能です。

📖 P.13

JICAパターン



アイテム
展開例

名刺/帯の中に使用



IDカード/背景に使用



2-2 JICAシンボルデザイン

JICAシンボルデザインは、必ずインターネットにある再生用データから再現してください。

JICAシンボルデザインは、JICAの新しいCIデザインシステムの中心として、あらゆるコミュニケーションに関わる媒体に可能な限り使用していきます。JICAの目標や理念がこの形の中に集約され、視覚的なコミュニケーションの場面で、それを人々に伝えます。

JICAシンボルデザインには、タイプAとタイプBの2タイプがあります。

タイプAは、日本国内の多くの人々に「ジャイカ」と読んでもらえるように、ルビを一体型にしたものです。原則として、和文表記のアイテムに使用します。

タイプBは、海外、日本国内の英文表記のアイテム、壁面サイン、およびスペースが小さくタイプAの使用が困難な場合に使用します。

どちらにも最小使用サイズを設けていますが、最小サイズ以上でも素材等によってはつぶれる可能性があります。その都度再現性を考慮して使用してください。

基本カラー再現

※背景色は、白またはJICAライトグレーを原則とします。その他の色・地紋・写真を背景にすることはできません。

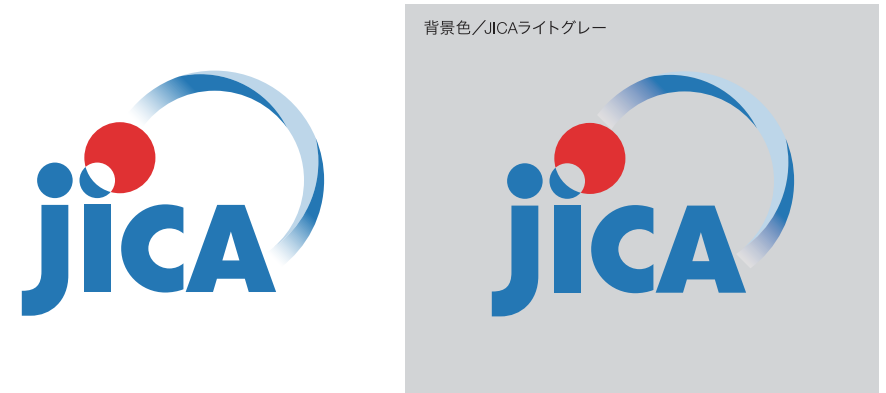
JICAシンボルデザイン(タイプA)



最小使用サイズ
10mm



JICAシンボルデザイン(タイプB)



最小使用サイズ
7mm



JICAシンボルデザインについて

新しいJICAのシンボルデザインは、「人」「地球＝世界」をテーマとした以前のシンボルデザインに、新たに「円弧」のモチーフを追加したものです。円弧のモチーフはJICAロゴに始まりJICAロゴに戻ることで、組織の活発な動きと共に、「循環型社会」「持続可能な開発と発展」そして、「日本の国際協力、国際貢献が日本社会への貢献にもつながること」などを表現しています。

また、新たに「i」に架かる円を赤い色とし、「地球＝世界」にあわせて「日本」をイメージできるようにしました。モチーフのグラデーションは、新しいJICAが「技術協力」「有償資金協力」「無償資金協力」の3つのスキームを融合させながら、総合的・戦略的に展開・発展する「ALL JAPAN」の援助機関であることを示しています。

3つのスキームの有機的な統合は円弧のモチーフが3つの側面を見せて運動するデザインでも表現されています。

これまでのJICAシンボルデザインの、「人間的なやさしさ(jとiは人が寄り添う姿)」「地域との連携、人と人との連携(2つの円の重なり合い、共鳴)」という理念を活かしながら、よりスピード感のあるダイナミックな新しいJICAを象徴するデザインです。

モノクロ再現

※背景色は、白を原則とします。

その他の色・地紋・写真を背景にすることはできません。



特殊再現

2014年9月に改定されました。別紙「改定201409」をご参照ください

※単色の白抜き・黒抜きが追加されました。



2-3 名称ロゴタイプ

名称ロゴタイプは、必ずイントラネットにある再生用データから再現してください。

名称ロゴタイプは、文字で確実に国際協力機構を認識してもらうためのものです。いずれもJICAシンボルデザインとの調和を考慮して、特別にデザインされた文字ですから、これを変形したり、字間をあける、つめるなど組み方を変えたり、他の書体を使用することはできません。それぞれ最小使用サイズを設けていますが、最小サイズ以上でも素材等によってはつぶれる可能性があります。その都度再現性を考慮して使用してください。

名称ロゴタイプ（基本形） 基本的にあらゆるアイテムに第1優先として下記の基本形を使用します。

名称ロゴタイプ(和文正式)

独立行政法人 国際協力機構



名称ロゴタイプ(和文略式)

国際協力機構



名称ロゴタイプ(英文)

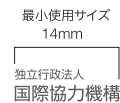
Japan International Cooperation Agency



名称ロゴタイプ（2段階） アイテムの表示スペース等の都合により、基本形が表示できない場合は、下記の2段階を使用します。
※和文・英文ともにセンター揃え、左揃え、右揃えの3タイプがありますので、表示するアイテムのレイアウトに合わせて正しく使い分けてください。

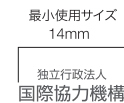
名称ロゴタイプ(和文正式/左揃え)

独立行政法人
国際協力機構



名称ロゴタイプ(和文正式/センター揃え)

独立行政法人
国際協力機構



名称ロゴタイプ(和文正式/右揃え)

独立行政法人
国際協力機構



名称ロゴタイプ(英文/左揃え)

Japan International
Cooperation Agency



名称ロゴタイプ(英文/センター揃え)

Japan International
Cooperation Agency



名称ロゴタイプ(英文/右揃え)

Japan International
Cooperation Agency



2-4 カラーシステム(カラー再現規定)

下記は、JICAシンボルデザイン(タイプA)を事例としていますが、JICAシンボルデザイン(タイプB)の場合も同様のカラー再現規定になります。

JICAブルーに加え、新たにJICAレッドを基本色に加えしました。「青い地球=世界と日本」「人間のあたたかさ」などを象徴した配色です。さらに、これらの2つの要素の調和を図るために背景色としてJICAライトグレーを補助色に追加しました。

名称ロゴタイプおよび文字要素はJICAグレーを用います。

新しいJICAのシンボルデザインはこれらの基本色を正しく使って表現することが原則です。

アイテムによって色数の制限や技術的な制約があり基本カラー表現が困難な場合に限り、モノクロ再現ができます。また、特殊効果が必要なアイテム(金属など)には、銀などで表示することができます。

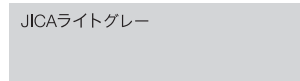
基本カラー



JICAブルー
 JICAブルー(コーポレートカラー)
 特色/PANTONE 300 C
 プロセス近似色/C100%+M45%
 スリーエムスコッチカルフィルム(不透過タイプ)/
 JS-6601XL スカイスクレイパー



JICAレッド
 JICAレッド
 特色/PANTONE 1797 C
 プロセス近似色/M100%+Y100%+C10%
 スリーエムスコッチカルフィルム(不透過タイプ)/
 JS-1234XL オータムレッド



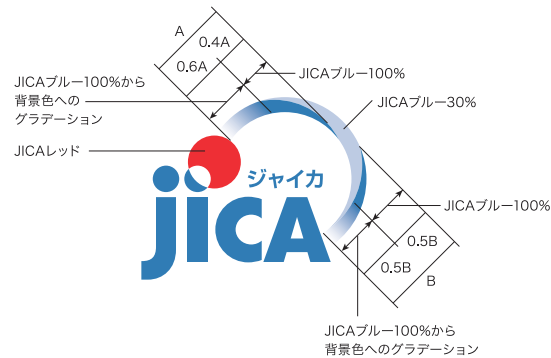
JICAライトグレー
 JICAライトグレー(背景色)
 特色/PANTONE Cool Gray 3 C
 プロセス近似色/BL15%
 スリーエムスコッチカルフィルム(不透過タイプ)/
 JS-1007XL シティグレイ



JICAグレー
 JICAグレー(文字要素)
 特色/PANTONE Cool Gray 10 C
 プロセス近似色/BL80%
 スリーエムスコッチカルフィルム(不透過タイプ)/
 JS-1008XL パトルシップグレイ

JICAシンボルデザインの基本カラー再現

再生用データから再現してください。



名称ロゴタイプおよび文字要素の基本カラー再現(JICAグレー)

独立行政法人 国際協力機構

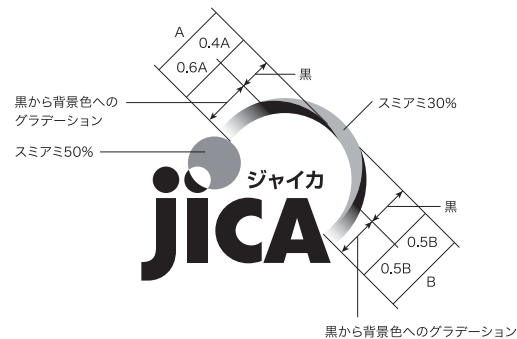
Japan International Cooperation Agency

独立行政法人 国際協力機構

〒151-8558 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインスタワー
 TEL: 03-5352-5311(代表) FAX: 03-5352-5032
 URL: <http://www.jica.go.jp/>

モノクロ再現 ※モノクロ再現の場合は、背景は「白」を原則とします。

再生用データから再現してください。



独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency

独立行政法人 国際協力機構

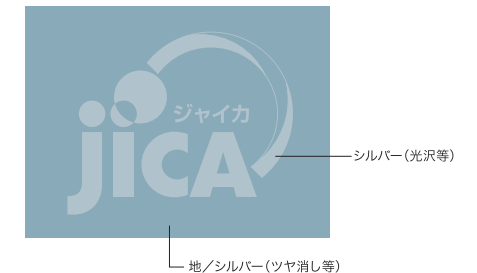
〒151-8558 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインスタワー
 TEL: 03-5352-5311(代表) FAX: 03-5352-5032
 URL: <http://www.jica.go.jp/>

特殊再現

※素材などにより、アミ再現ができない場合は、特殊バージョンを使用。(例/金属など)

再生用データから再現してください。

例/金属など



2-5 指定書体

指定書体は、JICAシンボルデザイン、名称ロゴタイプと最も調和する書体を一般書体の中から選定し、デザイン要素として位置付けたものです。

これらを可能な限りさまざまなアイテムに使用することで、「JICA」のアイテムが統一的なイメージで発信され、より効果的なコミュニケーションを図ることができます。使用する目的に応じて、下記の書体の中から適切なものを選んでください。

和文の文章中でもアルファベット・数字はヘルベチカ・ノイエを使用します。なお、和文とヘルベチカ・ノイエ(アルファベット・数字)を組合せる場合は、視覚的に同じサイズに見えるようにヘルベチカ・ノイエを和文よりやや大きいポイントで組合せます。

また、現地公用語を使用する場合は、下記のような「ゴシック系の書体」をできる限り使用してください。

和文とアルファベットの理想的なサイズの組合せ例

Windows用フォント	Macintosh用フォント	
和文／ゴシックファミリー	和文／ゴシックファミリー	アルファベット・数字／ヘルベチカ・ノイエ ファミリー
MS Pゴシック あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	中ゴシック あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ヘルベチカ・ノイエ 45 ライト / Helvetica Neue 45 Light ABCDEF GHIJ KLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
平成ゴシック W3 あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	新ゴL あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	
平成ゴシック W5 あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	新ゴR あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ヘルベチカ・ノイエ 55 ローマン / Helvetica Neue 55 Roman ABCDEF GHIJ KLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
平成ゴシック W7 あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	新ゴM あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ヘルベチカ・ノイエ 65 ミディアム / Helvetica Neue 65 Medium ABCDEF GHIJ KLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
平成ゴシック W9 あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	新ゴB あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ヘルベチカ・ノイエ 75 ボールド / Helvetica Neue 75 Bold ABCDEF GHIJ KLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
特太ゴシック体 あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	新ゴU あいうえおかきくけこさしすせそたちつと アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト 安以宇衣於加幾久計己佐之寸世曾太知川照飛	ヘルベチカ・ノイエ 95 ブラック / Helvetica Neue 95 Black ABCDEF GHIJ KLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 1234567890
フォント適合表 上記フォントが無い場合の代用フォント		
和文／ゴシックファミリー	和文／ゴシックファミリー	アルファベット・数字／ヘルベチカ・ノイエ ファミリー
中ゴシックBBB、M中ゴシックBBB、新ゴ ファミリー	中ゴシックBBB、MSゴシック 新ゴ ファミリー、平成角ゴシック ファミリー	ヘルベチカ ファミリー、Arial ファミリー

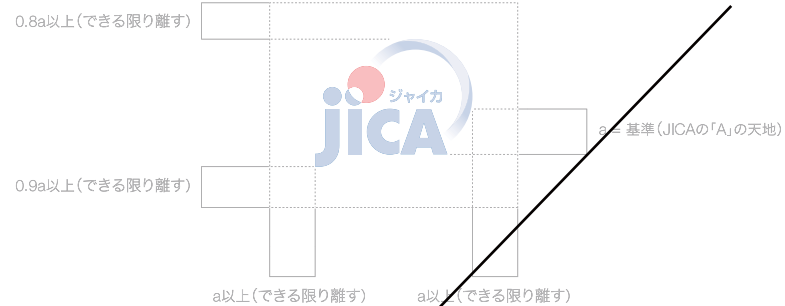
2-6 アイソレーション（不可侵領域）規定

アイソレーション（不可侵領域）規定とは、JICAシンボルデザインの視認性を確保するため、他の表示要素との間に十分なスペースを設けることです。下記の基準はJICAシンボルデザインと他の表示要素との最低限あけるべき間隔を示したものです。なお、アイソレーション範囲外であっても、JICAシンボルデザインの近くに大きな文字や個性の強い文字・図形などを表示しないでください。

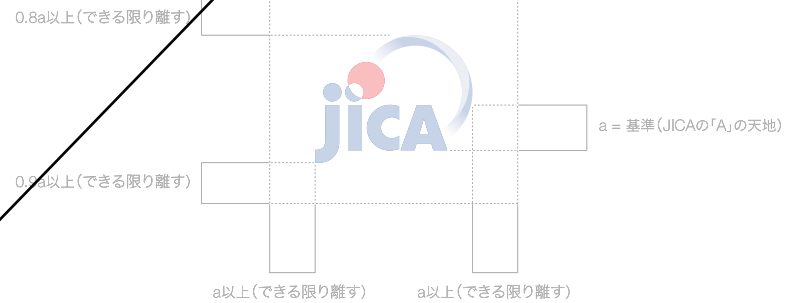
アイソレーション（不可侵領域）範囲

2014年9月に改定されました。別紙「改定201409」をご参照ください

JICAシンボルデザイン(タイプA)

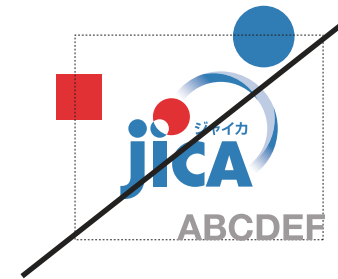


JICAシンボルデザイン(タイプB)

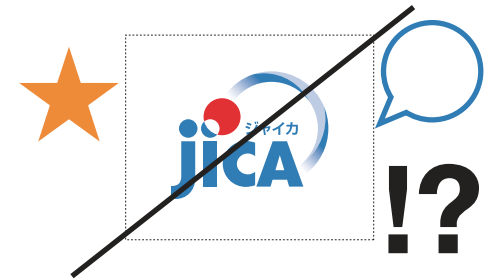


誤用例

アイソレーション範囲内に、他の要素を入れてはいけません。

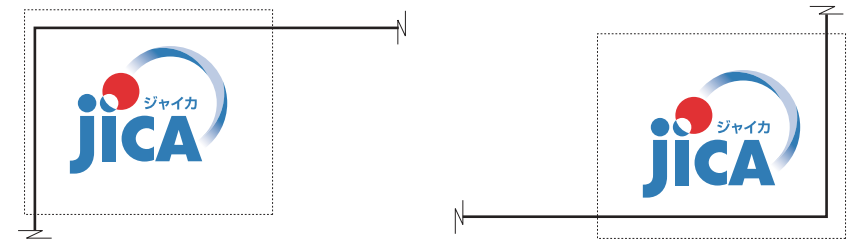


アイソレーション範囲外であっても、大きな文字や個性の強い文字・図形などを近づけてはいけません。



例外

アイテムの端にあたる部分には、アイソレーション規定は適用されませんが、できる限りアイソレーション規定に準じてください。



スペースが限られている場合（シール、サイン等）は、アイソレーション規定は適用されません。

シール



スペースが限られたサイン（ビルの共有サイン等）



2-7 シグネチャシステム-1 (名称ロゴタイプとの組合せ)

- 1 JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ)は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。
- 2 離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。(以下の「位置基準」を参照)
- 3 JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ)は、適切なサイズバランスとします。(以下の「サイズバランスの目安」を参照)

和文	<p>1 JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ)は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。</p> <p>以下は広告などの展開例です。</p>	<p>2 位置基準・・・離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。</p> <p>※JICAシンボルデザインの「A」の天地を(a=基準)とします。 ※下記は「名称ロゴタイプ(和文正式)」を例に表示していますが、「名称ロゴタイプ(和文略式)」および「国内機関略称」の場合も同様の位置関係です。</p>	<p>3 サイズバランスの目安</p> <p>名称ロゴタイプの文字天地は「a」または「a以下」で表示してください。</p>
	<p>1 JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ)は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。</p> <p>以下は広告などの展開例です。</p>	<p>2 位置基準・・・離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。</p> <p>※JICAシンボルデザインの「A」の天地を(a=基準)とします。</p>	<p>3 サイズバランスの目安</p> <p>名称ロゴタイプの文字天地は「a」または「a以下」で表示してください。</p>

英文	<p>1 JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ)は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。</p> <p>以下は広告などの展開例です。</p>	<p>2 位置基準・・・離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。</p> <p>※JICAシンボルデザインの「A」の天地を(a=基準)とします。</p>	<p>3 サイズバランスの目安</p> <p>名称ロゴタイプの文字天地は「a」または「a以下」で表示してください。</p>
	<p>1 JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ)は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。</p> <p>以下は広告などの展開例です。</p>	<p>2 位置基準・・・離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。</p> <p>※JICAシンボルデザインの「A」の天地を(a=基準)とします。</p>	<p>3 サイズバランスの目安</p> <p>名称ロゴタイプの文字天地は「a」または「a以下」で表示してください。</p>

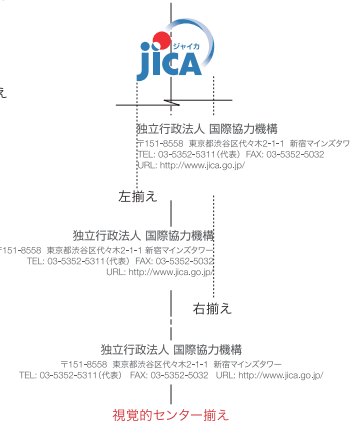
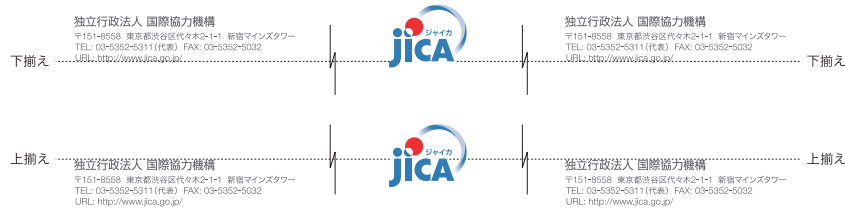
2-8 シグネチャシステム-2 (名称ロゴタイプ+住所などとの組合せ)

- JICAシンボルデザインとその他の要素(名称ロゴタイプ・住所)は、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。
- 離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。(以下の「位置基準」を参照)
- 名称ロゴタイプと住所は適切なサイズバランスで組合せませす。(以下の「サイズバランスの目安」を参照)

和文

2 位置基準・・・離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。

※JICAシンボルデザインの「A」の天地を(a=基準)とします。



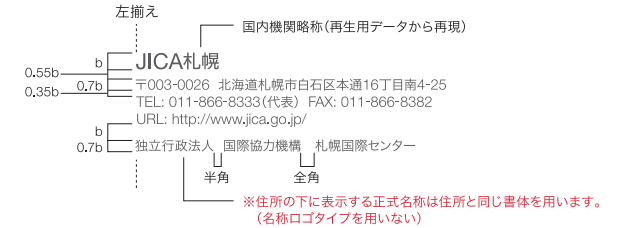
3 サイズバランスの目安

住所等文字表記の使用書体/和文：中ゴシック、 アルファベット・数字：ヘルベチカ・ノイエ ライト
※和文とアルファベット・数字を組合せる際、和文に天地が揃って見えるように、
アルファベット・数字を和文よりやや大きいポイントで組合せませす。

本部の場合 ※名称ロゴタイプの天地を(b=基準)とします。



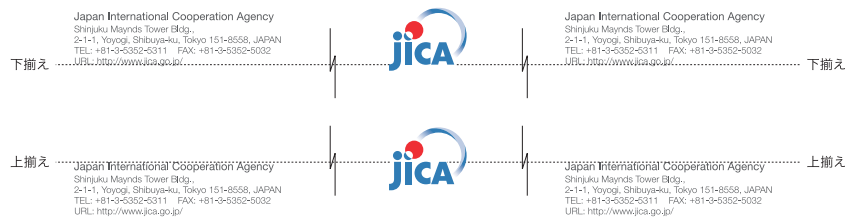
国内機関の場合 ※国内機関略称の天地を(b=基準)とします。



英文

2 位置基準・・・離して表示する際も、揃える位置は一定の基準を設けます。

※JICAシンボルデザインの「A」の天地を(a=基準)とします。



3 サイズバランスの目安

住所等文字表記の使用書体/ヘルベチカ・ノイエ ライト

本部の場合 ※名称ロゴタイプの天地を(b=基準)とします。



国内機関の場合 ※国内機関略称の天地を(b=基準)とします。



2-9 シグネチャシステム-3 (名称ロゴタイプ+機関名などの組合せ)

名称ロゴタイプと国内機関名・部署名・在外事務所名等を組合せて表示する際の基準です。

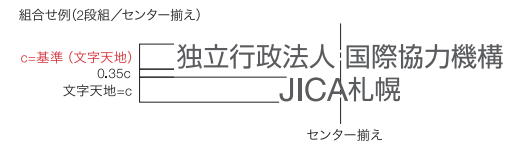
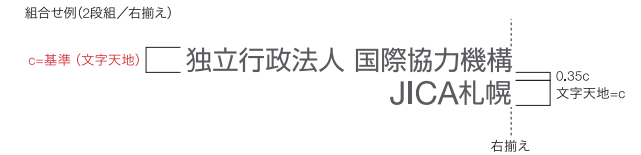
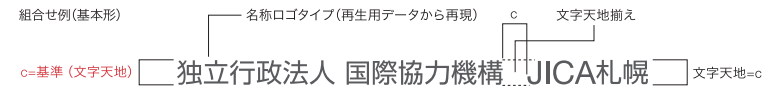
国内機関略称(和文)の組合せ

再生用データがない場合は下記の文字組みを参考に作成してください。
 使用書体/JICAの文字：ヘルベチカ・ノイエ 55 ローマン 和文：新ゴR
 ※和文とヘルベチカ・ノイエ(JICAの文字)を組合せる際、視覚的に同じサイズに見えるようにヘルベチカ・ノイエを和文よりやや大きいポイントで組合せます。



名称ロゴタイプと国内機関名・部署名の組合せ

表示スペースおよび機能、目的によって、最適な表示位置を選んでください。
 ※下記は「名称ロゴタイプ(和文正式)」を例に表示していますが、「名称ロゴタイプ(和文略式)」の場合も同様の位置関係です。



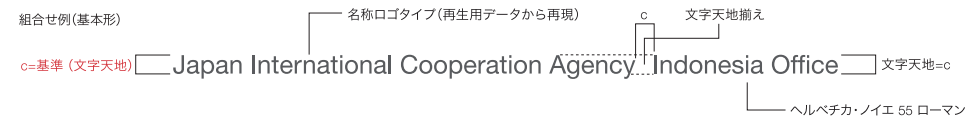
国内機関略称・在外事務所名(アルファベット)

使用書体/ヘルベチカ・ノイエ 55 ローマン



名称ロゴタイプと国内機関名・部署名・在外事務所名の組合せ

表示スペースおよび機能、目的によって、最適な表示位置を選んでください。



2-10 シグネチャシステム-4 (例外)

この規定は例外です。

スペースの制約上、JICAシンボルデザインと名称ロゴタイプを離して表示できない場合(例/帳票類、プレートサイン等)は、下記の基準を目安に、最適なサイズバランスに調整してください。
この場合もアイソレーション規定を守り、JICAシンボルデザインの独立性を保つように表示します。

スペースがない場合に近づけて表示する際の基準(横組み)

下記の基準を目安に、アイテムの機能やスペースにあわせ、最適なサイズバランスに調整してください。

名称ロゴタイプ(和文正式)と名称ロゴタイプ(英文)を併記する場合



名称ロゴタイプ(和文正式)の場合



名称ロゴタイプ(英文)の場合



国内機関略称(和文)の場合



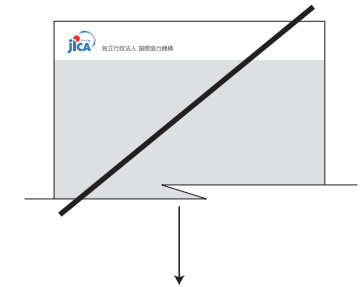
国内機関略称・在外事務所名(アルファベット)の場合



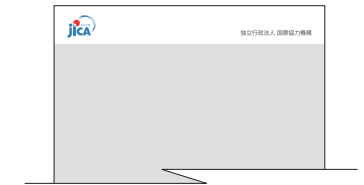
■ 留意点

本ページの組合せ例は、あくまでもスペースに制約がある場合のみの例外です。

離して表示するスペースがあるのに、近づけて表示するのは禁止です。



原則的には、できる限り離して表示し、お互いの独立性を保ちます。



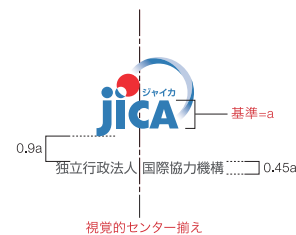
スペースがない場合に近づけて表示する際の基準(縦組み)

下記の基準を目安に、アイテムの機能やスペースにあわせ、最適なサイズバランスに調整してください。

名称ロゴタイプ(和文正式)と名称ロゴタイプ(英文)を併記する場合



名称ロゴタイプ(和文正式)の場合



名称ロゴタイプ(英文)の場合

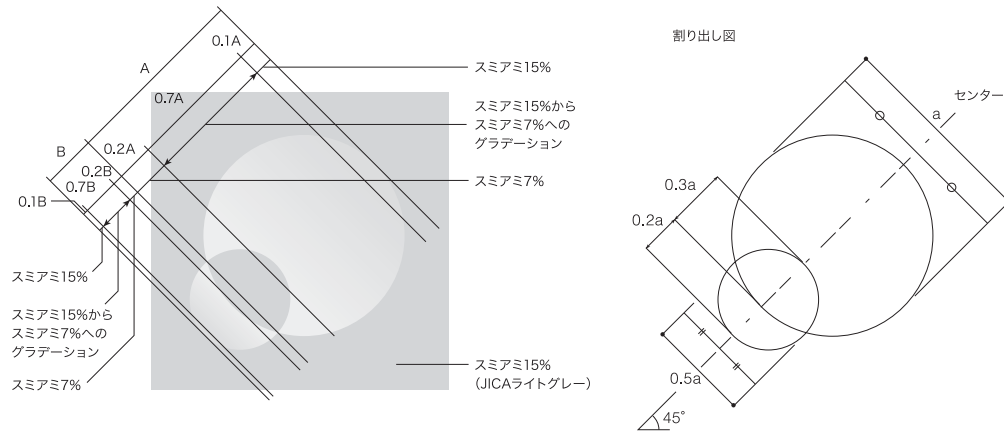


※視覚的センター揃え
「赤い円の右端」を中心軸にすると、視覚的にセンターに揃って見えます。



JICAパターンはシンボルデザインの特徴的なモチーフであるiとjの円の部分を抜き出して背景や地紋用にデザインしたものです。2つの円が重なり合うモチーフは「地域との連携、人と人との連携・共鳴」、「活動の世界全体への広がり」などを象徴しています。なお、JICAパターンはJICAシンボルデザインが表示されているアイテムに限り使用することができます。使用にあたっては、JICAシンボルデザインがメイン(主役)、JICAパターンはあくまでもサブ(装飾)的な役割です。この関係を理解した上で効果的な展開を心掛けてください。

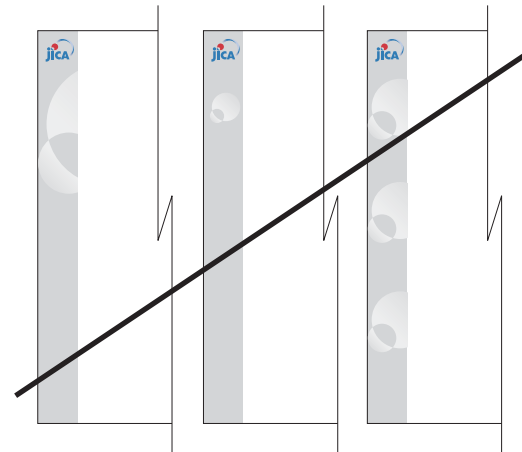
JICAパターン



誤用例と推奨例

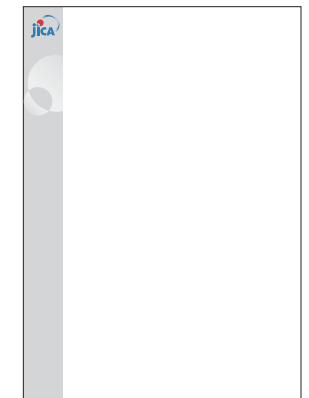
誤用例

- 大きすぎて全体の形がわかりづらい
- 小さすぎてダイナミック感に欠ける
- 同アイテム上に2つ以上のパターンを用いてはならない



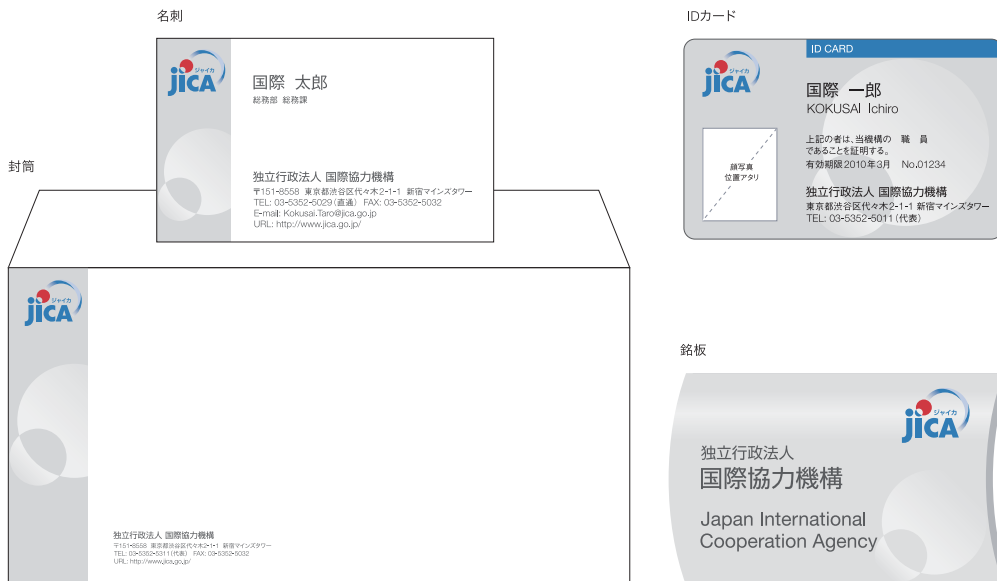
推奨例

バランスの良いサイズ(トリミング)で配します。



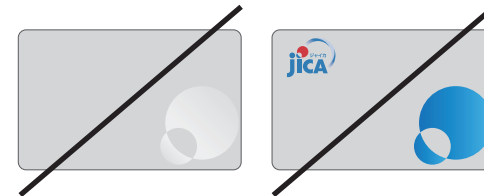
アイテム展開例

名刺や封筒のように帯の中に入れてたり、IDカードや銘板のように背景に入れて展開すると、効果的です。



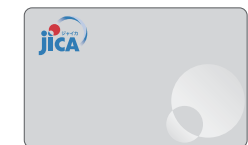
誤用例

- JICAパターンを使用する場合は、同アイテム上に必ずJICAシンボルデザインを表示しなくてはならない。
- JICAパターンのグラデーションの色や角度を変えてはならない。



推奨例

JICAシンボルデザインは必ず表示し、グラデーションの色と角度も規定に従ってください。



2-12 使用禁止例

JICAシンボルデザイン、名称ロゴタイプをはじめ各要素は、正しく使用することにより、はじめて本来の機能を十分に発揮し、望ましいイメージを伝えることができます。各要素の誤った使用は、イメージの統一性を損なうことだけでなく、イメージダウンにもつながります。

規定外の色で表示してはならない

☞ P.6



文字の間隔を変えたり、変形してはならない

☞ P.4



陰影表現をしてはならない



ふちどり線を付けてはならない



ルビのサイズ、太さ、位置、書体を替えてはならない
※JICAシンボルデザイン(タイプA)を正しく使用してください



規定外の組合せを作ってはならない

☞ P.8



規定外の組合せを作ってはならない

☞ P.8



他の要素を近づけてはならない

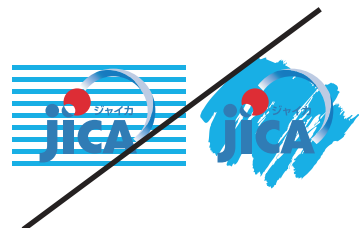
☞ P.8



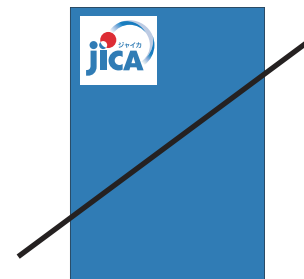
写真の上に表示してはならない



白またはJICAライトグレー以外の背景色に表示してはならない



JICAシンボルデザインの周囲を枠で囲むような表示をなるべく避ける



名称ロゴタイプの文字の間隔を変えたり、変形してはならない
☞ P.5

独立行政法人 国際協力機構

国際協力機構

独立行政法人
国際協力機構

Japan International Cooperation Agency

Japan International
Cooperation Agency

2-2 JICAシンボルデザイン (特殊再現)白抜ききの追加

他機関や企業等との共同製作時等、素材の色・印刷方法(単色印刷)が限定されている場合のみ使用可能です。背景となる色の「明度が高い(明るい色)場合」は、通常の特許再現(黒抜き)を使用するなど、コントラストが強くなるよう十分注意して使用してください。

- ※ ウェブサイトでは使用できません。必ず従来の基本カラーで再現してください。
- ※ 複色印刷が可能な場合は、必ず従来のロゴを使用してください

タイプA

日本国内の多くの人々に「ジャイカ」と読んでもらえるように、ルビを一体型にしたものです。原則として、和文表記のアイテムに使用します。



新規追加 / 白抜き再現



黒抜き再現

タイプB

海外で統一的に使用します。また、日本国内の英文表記のアイテム、壁面デザイン、およびスペースが小さくタイプAの使用が困難な場合に使用します。



新規追加 / 白抜き再現



黒抜き再現

事例 外部企業との共同イベントにおけるTシャツ

「企業との共催」+「素材の色(オレンジ)→変更不可」+「印刷時使用可能な色→『白』一色」

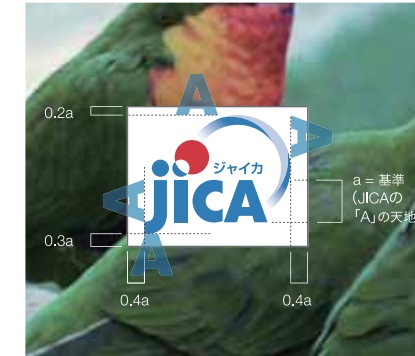


2-6 アイソレーション(不可侵領域)規定の緩和

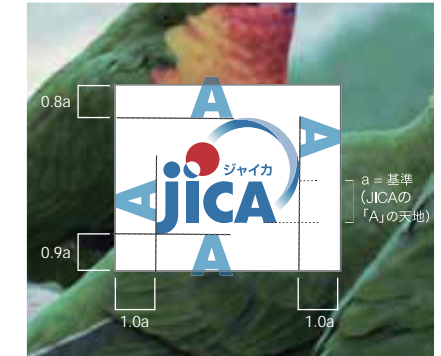
従来のアイソレーション範囲を保持できないケースに対応するため、保持範囲を従来より狭くした「限定アイソレーション」を作成しました。必ずアイソレーションについての詳細な説明が記されている以下のページをご参照の上、そのいずれの方法でも対応できない場合にご使用ください。

- ◆デザインマニュアルP2 ~基本的なデザインルール
- ◆デザインマニュアルP8~アイソレーション(不可侵領域)規定

【今次緩和】 限定アイソレーション



基本型アイソレーション (デザインマニュアルP.8)



※上の例のように、スペースの関係上やむを得ず写真等、白もしくはJICAライトグレー以外の上に表示する場合は、必ず「アイソレーションを確保した白背景色のJICAシンボルデザイン」を使用してください。

3-21 サイン-3 (壁面サイン)

◆(旧)素材
ステンレスチャネル文字 塩ビシート貼

◆(新)素材
デザインマニュアルP35にて「壁面が白色で第一優先のシルバーでは、視認性が良くない場合～」と例外に規定されている「基本カラー」での表示を除き、素材の耐久性を重視し「塩ビシート」や「サンドブラスト」などで下図 **A** の部分については反射率を落とし、立体感を表現してください。

